

平成25年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会
◀ 次期開催地挨拶 ▶



ただいまご紹介をいただきました唐津市副市長の世戸でございます。

時期開催地ということで、実はご承認いただけるのではないかとということで、勝手ながら市長の挨拶を預かってきておりますので読ませていただきたいと思います。

観光 PR も含めまして長くなると思いますが、ご清聴よろしく願いいたします。

このたびは、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会の時期開催地に唐津市をご承認いただき心より感謝を申し上げます。精一杯務めさせていただきますので何卒よろしくお願いいたします。

私どもの唐津市でございますが、玄界灘に面した九州西北部に位置しており、古くは、唐の津と呼ばれ、大陸の玄関口として港のにぎわいととも形成された町でございます。

近代においては、石炭の積み出し港として隆盛を誇った唐津港や資源豊富な漁港として繁栄した呼子港などを有する土地柄でございます。また、商人文化の象徴として多くの観光客で賑わいます「唐津くんち」が毎年11月に開催され、豪華絢爛な14台の曳山を火消し装束を纏った曳子達が囃子の旋律とともに旧城下町を練り歩きます。ちょうど、この季節は各町において囃子の練習による音色が響き渡り、町中がだんだんと活気づいております。

さて、来年の大河ドラマの主人公は黒田官兵衛とのことですが、太閤秀吉が朝鮮出兵の拠点としたのが、唐津市北部にございます肥前名護屋城でございます。720年前に黒田官兵衛が設計し、周囲には徳川家康をはじめ130以上の名だたる諸大名の陣屋が構築され、全国から20万人を超える人々が集まったと言われております。

ところで、唐津は新鮮な食材の宝庫でもございます。全国で有名な呼子のイカや日本一の生産を誇るハウスみかん、高級和牛で知られる佐賀牛の生産など、唐津の雄大な自然がおいしい食材を育んでおります。

このように、私どもの唐津市は伝統文化、あるいは食など様々な魅力に溢れる地でございますので、来年お越しいただいた際には是非ご堪能いただきたいと思っております。

さて、現在の唐津港の取り組みといたしましては、昨年7月よりアメリカ合衆国のグアムへの唐津産石材の搬出をきっかけとしまして、今年の7月に友好交流意向書を締結したことにより、今後、経済交流の積極的な推進拡大はもとより教育、文化、スポーツ、観光などで広範な市民交流による相互理解など新しいネットワークを構築いたしました。

また、昨年唐津市の姉妹都市であります韓国麗水市に於いて開催されました世界博覧会においては、唐津港より直行便を就航し、多くの市民の皆様にご参加をいただき、国際化交流の輪を拡げたとところでございます。

さらには、毎年唐津港で様々なイベントを開催し、港湾区域の賑わい作りを創出するとともに、クルーズ船などの寄港の際には国の特別名称であります、虹の松原をはじめ唐津のシンボルであります、唐津城など風光明媚なロケーションにより皆様を迎えようとしております。来年は、私どもの唐津に皆様方をお迎えできますことを大変楽しみにしておりますとともに、今年同様に本総会がこのように盛大に開催できますよう、多くの皆様のご来訪を心からお待ちしております。

結びになりますが、日本海にぎわい・交流海道ネットワークの益々のご発展と本日ご参加の皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、日本海のにぎわいを創出するため、ここ男鹿市からその思いを九州唐津の地に引き継ぎまして、皆様を心より歓迎いたしますことを申し上げまして、時期開催地唐津市の挨拶とさせていただきます。

本日の総会のご盛会誠にありがとうございます。

平成25年10月3日 唐津市長 坂井俊之 代読

どうぞよろしく願いいたします